

第9回教育支援コーディネーター・フォーラム(報告②)

第1部 教育支援基礎セミナー (10時30分から12時まで)

昨年一昨年は、情報交換の時間帯に、初めてフォーラムに参加した方向けのセミナーを実施していました。今回は午前中に都民ホールで開催し、定員300人のホールに、計250名を超えるコーディネーター、企業等団体の皆さん、校長先生などの参加者にお集まりいただきました。

セミナーは2部構成で、前半のPART1では地域教育推進ネットワーク協議会の目的や機能について事務局(生涯学習課)から説明をし、後半のPART2では、学校支援と放課後子供教室に関わるコーディネーターの方々向けに、教育支援コーディネーター・フォーラムの参加の仕方や活用方法について事例発表を行いました。



ネットワーク協議会 事務局 粉川貴司(東京都教育庁地域教育支援部長)による挨拶

□<PART1> 学校支援を始めたい企業・NPO等のための基礎セミナー□



〔セミナー<PART1>参加者の感想より〕

- ・初めてのフォーラム参加でしたが、説明がわかりやすく、よかったです。
- ・ネットワーク協議会について、わかりやすく説明いただき、あらためて自分の立ち位置を確認できました。
- ・なぜ地域(企業も含む)が学校にとって必要なのか、大変わかりやすいお話でした。

□<PART2> 初めてフォーラムに参加するコーディネーターのための基礎セミナー□

学校と、先生たちとつながる！情報活用術

ケース1
板橋区立蓮根第二小学校支援地域本部地域
コーディネーター 宮澤美樹さんの場合
「情報交換ロビーの回り方、情報のつなげ方」



このコーディネーター・フォーラムは、学校や先生方、子供たちに持ち帰る、お土産探しの場というふうにとらえています。お土産を探すときって、持ち帰って渡す、相手のことを思って探しますよね。そんなイメージで、出展団体のブースを回っています。

ケース2
小平市立小平十三小学校放課後子ども教室
実行委員 吉永実穂さんの場合
「つながる 広がる そして続く 放課後子ども教室」



子供たちの居場所であることはもちろん、学びの場を提供することで、小平十三小の特色を構築したいと考えていました。このコーディネーター・フォーラムに参加したスタッフが、たくさんの企業や団体のプログラムの資料を持って帰ってきてくれました。

〔セミナー<PART2>参加者の感想より〕

- ・実際に導入されている方々の話は参考になりました。我々にもできるのでは、という気持ちにさせられました。
- ・実際にコーディネーターの方の具体的な活動内容の話を知り、コーディネーターとしての役割がよく理解できました。
- ・今回の話は学校にて報告して、今後の目標を見つけていきたいと思えます。
- ・パート2では、初参加の私に安心を与えてくれるお話を、ありがとうございました。